

Japan Private Equity Conference in 東京

『年金基金のためのプライベート・エクイティ』

出版記念シンポジウムのご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、2014年10月に株式会社きんざいから刊行されます『年金基金のためのプライベート・エクイティ』の出版を記念して、Japan Private Equity Conference in 東京を開催することになりましたのでご案内させていただきます。

昨今、資産運用の対象としてプライベート・エクイティに着目する年金基金が増えてきており注目されている。そこで、本シンポジウムでは、日本の年金基金の資産運用を取り巻く環境の変化に触れつつ、プライベート・エクイティ・ファンドのリスク・リターン特性やマネジャーの投資活動について解説します。また、日本の年金基金がプライベート・エクイティ・ファンドへの投資を開始する際に求められる姿勢や留意点についての議論も行います。

企業年金基金、厚生年金基金、公的年金基金、信託銀行、投資顧問会社などで年金資産運用に携わっている方々や年金コンサルタントやゲートキーパーの方々にご参加賜れば幸いです。

開催要領

【日時】

2014年11月26日（水）13:25～17:45（13:00 受付開始）

【場所】

大手町サンケイプラザ（東京都千代田区大手町1-7-2）4階ホール

【参加費】

1名 28,000円（税込）

【参加対象】

- ・企業年金基金、厚生年金基金、公的年金基金、信託銀行、投資顧問会社などで年金資産運用に携わっている方々
- ・金融機関（大手銀行、地方銀行、証券会社、保険会社、ノンバンク）などで資産運用に携わっている方々
- ・プライベート・エクイティ・ファーム（バイアウト、ベンチャー、グロース、メザニン、セカンダリー、ファンド・オブ・ファンズ）
- ・ゲートキーパー、年金コンサルタント、アドバイザー・ファーム、プレースメント・エージェント

【お申し込み方法】

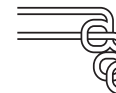
申込書でのFAX送信かWebサイト上（<http://www.jbo-research.com/>）で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsors

CapitalDynamics



エー・アイ・キャピタル株式会社
Alternative Investment Capital Limited



Ark Totan Alternative

Co-sponsors

POLARIS

Advantage Partners, LLP

ANT CAPITAL
PARTNERS



東京海上キャピタル株式会社

Deloitte. トーマツ

大和ファンド・コンサルティング
Daiva Fund Consulting

CLSA
CAPITAL PARTNERS

MCo
MEZZANINE CORPORATION

MIZUHO

みずほキャピタルパートナーズ

三井住友トラスト・キャピタル
SUMITOMO MITSUI TRUST CAPITAL

INTEGRAL

MIZUHO

みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ

西村あさひ法律事務所
NISHIMURA & ASAHI

GLOBALIS CAPITAL PARTNERS

NEXT

ネクスト・キャピタル・パートナーズ



フェニックス・キャピタル株式会社
Phoenix Capital Co., Ltd.



EATON
PARTNERS

主催：株式会社日本バイアウト研究所 協力：株式会社きんざい

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com（担当：杉浦）

Japan Private Equity Conference in 東京 プログラム

受付開始 (13:00)

刊行の背景・内容紹介 (13:25-13:35)

株式会社日本パイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

基調講演 (13:35-14:05)

テーマ: 年金基金によるプライベート・エクイティ投資のグローバルな潮流と日本の年金基金の動向

キャピタル・ダイナミクス株式会社 代表取締役社長 小林和成氏

<概要>

海外の年金基金によるプライベート・エクイティ投資の歴史および最近の潮流について触れた上で、その日本の年金基金への含意について説明する。海外の年金基金と日本の年金基金は制度や生い立ちも異なるので一概に海外の状況が日本に当てはまるわけではないが、海外の経験を踏まえてそれを日本の制度・環境に合わせて今後のプライベート・エクイティ投資に役立てることに意義がある。また、グローバルなプライベート・エクイティ市場における日本市場の位置づけについても触れ、それに対する年金基金の取り組みについても説明する。

ワンポイント解説 (14:05-14:25)

テーマ: コーポレート・ガバナンスに脚光が当たる中での内部統制のあり方

有限責任監査法人トーマツ 金融インダストリーグループ パートナー 浅野昌夫氏

<概要>

2014 年 2 月に日本版スチュワードシップ・コードが公表され、8 月からはコーポレート・ガバナンス・コード策定に向けた検討がスタートした。インベストメント・チェーンの中でプライベート・エクイティ・ファンドが果たすべき役割も、おのずからこうした側面を強く意識することが求められる。本セッションでは、プライベート・エクイティ・ファンドが果たすべき役割とその背景などについて解説する。

休憩 (14:25-14:35)

第一セッション (14:35-15:25)

テーマ: 年金基金のアセットクラスとしてのプライベート・エクイティ・ファンド ～Jカーブ、低流動性、長期投資を超えて～

東京海上キャピタル株式会社 取締役 ジェネラル・パートナー 重村英輔氏

GLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 マネージング ディレクター 清塚徳氏

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表取締役社長 飯沼良介氏

司会者 エー・アイ・キャピタル株式会社 副社長 松尾匡氏

<概要>

資産運用の対象としてのプライベート・エクイティ・ファンドの特徴について説明したうえで、日本の年金基金によるプライベート・エクイティ投資における懸念事項（低流動性、長期投資、体制・リソースなど）とその対応策などの実態についての討論を行う。また、日本の年金基金にとって為替リスクをとる必要がなく「手触り感」のある国内パイアウト・ファンドの現況について説明し、今後の可能性について語る。

コーヒーブレイク (15:25-15:45)

第二セッション (15:45-16:35)

テーマ: プライベート・エクイティ・ファンドによる価値創造の本質 ～リターンを高めるダイナミズム～

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 パートナー 飯沼昭氏

アドバンテッジパートナーズ LLP シニア パートナー 永露英郎氏

インテグラル株式会社 取締役パートナー 水谷謙作氏

司会者 エー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 平尾泰文氏

<概要>

プライベート・エクイティ投資の特徴は「価値創造」にあり、アクティブ運用による超過リターン（いわゆるアルファ）の獲得を目指す。特に、パイアウト・ファンドのマネジャーには、良質な案件を発掘（ソーシング）して投資の判断を行う能力、投資後の経営改善（バリューアップ）の能力、投資の回収（エグジット）の実行力など、高度なスキルが求められる。本セッションでは、ソーシング→バリューアップ→エグジットの各プロセスにおいて、高いリターンを確保するためにマネジャーがどのような工夫を行っているかについて解説する。

休憩 (16:35-16:45)

第三セッション (16:45-17:45)

テーマ: プライベート・エクイティの活用方法とその導入メリット ～日本の年金基金がプライベート・エクイティに求めるもの～

セコム企業年金基金 常務理事 八木博一氏

旭化成企業年金基金 インベストメント・オフィサー 松本啓氏

大阪ガス株式会社 財務部 ファイナンスチーム（企業年金資産運用担当）インベストメント・オフィサー 石田英和氏

株式会社大和ファンド・コンサルティング 投資戦略ソリューション部長 玉之内直氏

司会者 アーク東短オルタナティブ株式会社 取締役 鈴木英典氏

<概要>

プライベート・エクイティを既に導入している日本の年金基金は、まだ少数派である。しかしながら、その少数派の年金基金は明確な目的意識を持ってプライベート・エクイティを導入しているケースが多い。そこで、本セッションでは、年金基金におけるプライベート・エクイティの活用方法やその導入メリットや、導入に際しての課題とその克服方法をお聞きするとともに、日本の年金基金が今度どのような役割をプライベート・エクイティに期待するか、またどのような特徴を備えたファンドを求めているかについて浮き彫りにする。

* 本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。